

資料 3

	みなみかわち	いしばし	こくぶんじ	合計
地域ケア個別会議	2	3	3	8
地域ケア推進会議	R6.2.28開催。出席者21名 地域ケア個別会議や自立支援型地域ケア会議で把握した地域課題や求められる社会資源をまとめ、意見を伺う。 講話 地域共生社会の実現に向けて～他の地域の取組み～ つるかめ診療所 副所長 日本社会事業大学大学院福祉マネジメント研究科教授 鶴岡 浩樹 先生 グループワーク (①高齢者の見守り体制の構築②閉じこもり・孤立化への対応③高齢者の移動手段や居場所の不足④地域の関係性の希薄さの4つのテーマからグループ毎に1つを選んで検討)			
自立支援型地域ケア会議	会議:17回開催(振り返り会議実施のため、1回分は開催なし) 内容:1回につき1事例を検討、モニタリング報告も実施 検討事例 16件、モニタリング 24件			

2. 認知症総合支援事業

養成講座	みなみかわち		いしばし		こくぶんじ		合同開催		合計															
	開催数	参加者	開催数	参加者	開催数	参加者	開催数	参加者	開催数	参加者														
	7回	272	3回	51	4回	37	0回	0	14回	360														
	認知症サポーター数(人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>Region</th> <th>Number of Supporters</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>7,881</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>9,389</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>9,600</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>9,792</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>10,152</td> </tr> <tr> <td>Total</td> <td>10,152</td> </tr> </tbody> </table> 累計10,152人										Region	Number of Supporters	R1	7,881	R2	9,389	R3	9,600	R4	9,792	R5	10,152	Total	10,152
Region	Number of Supporters																							
R1	7,881																							
R2	9,389																							
R3	9,600																							
R4	9,792																							
R5	10,152																							
Total	10,152																							
ステップアップ講座 (シルバーサポーター登録 ⇒チームオレンジしもつけ登録)	R5年11月15日開催 23名受講 ①講話「認知症の“人の気持ち”～思いを理解してかかわる～」講師 関口 賢治 氏 (株)フレンド 執行役員 在宅介護事業部長 ②グループワーク「認知症の人との接し方を考えよう」テーマ:ゴミ出し、徘徊																							
キャラバンメイト連絡会	R6年2月7日開催 16名出席 認知症サポーター養成講座標準テキストの改訂について ～「認知症サポーター養成講座標準教材」準拠スライド(2023.10新版)動画視聴～																							

(2)認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供

推進委員会		1回（R6年1月12日開催）							
初期集中支援 チーム活動		みなみかわち		いしばし		こくぶんじ		合計	
		会議回数	ケース数(実人数)	会議回数	ケース数(実人数)	会議回数	ケース数(実人数)	会議回数	ケース数(実人数)
	R1	5回	9	6回	6	5回	2	16回	17
	R2	3回	6	0回	1	3回	4	6回	11
	R3	2回	2	1回	1	1回	1	4回	4
	R4	2回	2	2回	3	2回	1	6回	6
	R5	3回	7	3回	1	3回	2	9回	10

(3)認知症の方や介護者の支援

	R3				R4				R5			
	開催箇所	延べ 開催回数	実人数	延人数	開催箇所	延べ 開催回数	実人数	延人数	開催箇所	延べ 開催回数	実人数	延人数
家族介護者交流会	1か所	7回	20	86	1か所	12回	17	127	1か所	12回	19	87
認知症カフェ	4か所	35回	121	440	4か所	59回	141	766	5か所	72回	247	1,057

(4)啓発活動

- ・市広報紙を活用した普及啓発実施 5月号:若年性認知症について 9月号:アルツハイマー月間
- ・アルツハイマー月間における認知症普及啓発 パネル展示、オレンジガーデニングプロジェクト
- ・市民講演会「超高齢社会を生きる～認知症とどのように向き合うか～」 R5.9.30(土)開催 参加者133 名
講師:自治医科大学附属病院 精神医学講座教授 認知症疾患医療センター 須田 史朗 先生
- ・R5.11.25(土)しもつけふくしフェスタにおいてオレンジカフェ及び認知症家族の会ブースを設置

※家族会員やチームオレンジしもつけ、オレンジカフェの参加者の多くが高齢者であることから、今後は幅広い年齢層に参加してもらえるよう周知や内容の充実が必要。
認知症地域支援推進員の活動を強化するとともに、市広報紙やホームページ、オレンジ通信等を活かしながら、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指す。

3. 在宅医療・介護連携推進事業

	回数・内容等
在宅医療・介護連携推進協議会	1回(R6.1.17開催) 【協議内容】 (1)令和4年度・令和5年度在宅医療・介護連携推進事業実施状況について (2)下野市の在宅医療・介護連携推進事業実施状況及び 課題管理シートを活用した取り組みについて
「下野市医療・介護・地域資源情報検索サイト」操作説明会	(R5.7.10 計3回開催)参加者合計89人 【内容】 市内医療機関・介護事業所向けの操作説明会 講師 カシオ計算機株式会社 宮下 悟 氏
市民講演会	①(R5.7.30)第11回つるカフェ市民講座 参加者 約200人(会場のみ) テーマ:「イシ決定支援？私の意思はどこにある？～関西からあの劇団がやってくる」 講演:「シン・ピンコロ4～勇じいさんの胃ろういろいろ物語～延命治療の非開始・中止とは??」 講師:桜井 隆 先生、白山 宏人 先生 ②(R6.3.24)小山地区医師会市民公開講座 人生会議(ACP)に係る講演会 テーマ:生き方・逝き方を考える 講師:玉置 妙憂 先生
終活セミナー	①「ミニ終活セミナー」 ・地域ふれあいサロンへ向け 8回 117人 ・南河内地区民生委員児童委員協議会 1回 12人 ②下野市終活セミナー(R5.11.29開催)53人 テーマ:本当にあった怖い話 ～明るく 楽しく 心穏やかに～ 講師:真言宗智山派 石橋山 阿彌陀院 開雲寺 住職 塩澤 弘崇 氏
多職種研修会及び研修	①多職種研修会 令和6年3月19日 (テーマ)日常の療養支援における在宅医療介護の連携について(職種別・多職種グループワーク) ②つるカフェ(小山地区医師会と市の共催) 月約1回 13回開催 参加者 321人 ③スペシャルDなつるカフェ(市共催) 【1回目】(R5.10.31) 参加人数 25人 テーマ:この冬の備え、していますか？ 「 KISA2隊とは?」、「訪問看護のお話」、「薬局薬剤師のお話」、「グループワーク」 【2回目】(R6.1.31) 参加人数 30人 テーマ:私のダイジノートを作りますか?～コロナ＆災害対策から人生会議まで～ 「安心できる訪問看護」、「感染症・災害 備えておきたい常備薬」「下野市の事業について」

ケアマネジャー連絡協議会	研修会 4回
	①(R5.6.29) 参加者57人 テーマ:口腔のケアマネジメントのために 講 師:栃木県歯科衛生士会 理事 金子 ひとみ 氏
	②(R5.9.15) 参加者51人 テーマ:介護現場におけるハラスメント対策について 講 師:弁護士法人 佐藤貞夫法律事務所 弁護士 杉田 明子 氏
	③(R5.11.10) 参加者56人 テーマ:認知症診療の現状と今後の展望 講 師:自治医科大学 精神医学講座 認知症疾患医療センター 教授 須田 史朗 先生
	④(R6.2.20) 参加者49人 テーマ:障がい福祉サービスから介護保険サービスへの移行のてびきについて 講 師:市障がい児者相談支援センター相談支援専門員 情報提供:認知症家族の会からのお願い

※エンディングノートは終活セミナー以外にも、つるカフェやスペシャルDなつるカフェでも紹介した。高齢福祉課や各施設の窓口にも設置し、市民から好評を得ている。
次年度も在宅医療・介護連携推進に向けた事業の内容・周知方法について検討し、関係機関と連携しながら進めていきたい。

4. 生活支援体制整備事業

	回 数	備 考
市民講演会	1回	R6.3.9 生活支援体制整備事業講演会 参加者54名 テーマ「居場所からつながり広げる地域づくり」 講師:ゆいの里(那須塩原市)代表 飯島 恵子 氏
第1層協議体	2回	第1回 R5.9.12開催、第2回 R6.3.22開催
第2層協議体	各地区 月1回開催	
合同連絡会議	月1回開催	メンバー:第1層・2層SC、各包括担当者、高齢福祉課担当者
生活実態把握調査	4自治会にて実施	自治医科大学看護学部と共同で実施

※住民が主体となって提供する有料サービス(有償ボランティア)について、各地区(旧町単位)で1組織ずつ発足し活動している。

地区全域へサービス提供が難しい地区もあるが、他地区から支援を受けることにより、サービス提供地域の拡大が図れている。

※民生委員研修等での説明や、チラシ配布、広報誌への記事掲載など行い、事業内容の周知・啓発を図った。

※医療機関や介護事業所等の施設情報や社会資源の最新情報をインターネットで手軽に検索できる、

下野市医療・介護・地域資源情報検索サイト「しもつけケアナビ(略称:Sナビ)」を導入し、令和5(2023)年度に一般公開した。
医療・介護・障害施設等の情報や地域資源情報等、必要な情報を検索できるため、関係機関の連携強化や市民への周知につなげていく。

生活支援体制整備事業における2層SCや協議体の活動を可視化することにより、情報共有と連携の促進を図っていく。

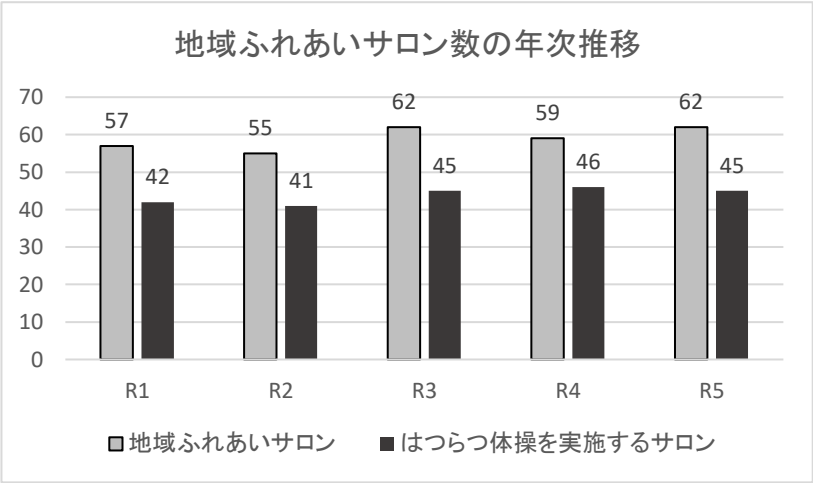
5. 一般介護予防事業 普及啓発事業

(1)元気はつらつ体操

元気はつらつ体操 実施サロ ン(R6.3月 末時点)		みなみかわち	いしばし	こくぶんじ	合計
	～R4開始サロン数	18	13	11	42
	R5休止サロン数	0	1	0	1
	R5～新規サロン数	2	2	0	4
	合計	20	14	11	45

地域ふれあいサロン数の年次推移(各年度末時点)

	R1	R2	R3	R4	R5
地域ふれあいサロン	57	55	62	59	62
はつらつ体操を実施するサロン	42	41	45	46	45

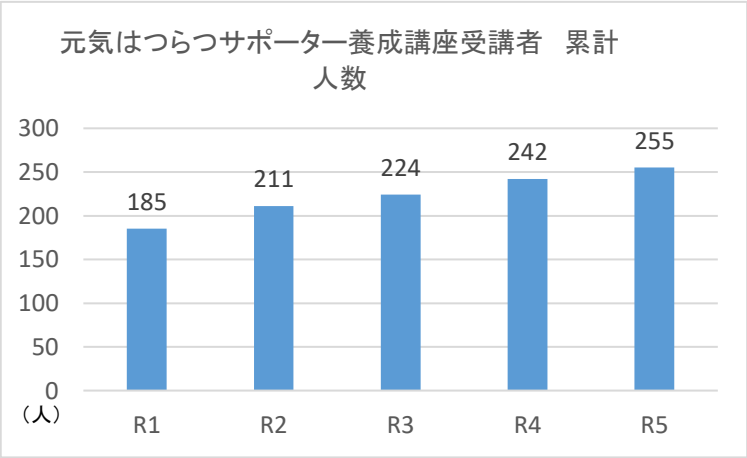


		みなみかわち	いしばし	こくぶんじ	合計
元気はつらつ体操 サポーター養成	R5養成講座参加者数	6	4	3	13
	R5フォローアップ講座参加者数	5	1	2	8

※R2～養成講座:サロン参加者の希望者に対象者を絞って実施

元気はつらつ体操サポーター養成講座受講者 累計人数

	R1	R2	R3	R4	R5
年度参加人数	38	26	13	18	13
累計人数	185	211	224	242	255



(2)地域リハビリテーション活動支援事業

通いの場での健康教育の講話時の支援

職種	みなみかわち	いしばし	こくぶんじ	合計
リハビリテーション専門職	5	8	6	19
薬剤師	3	1	5	9
管理栄養士	8	10	11	29
歯科衛生士	8	8	15	31
計	24	27	37	88

※専門職の講話時に、地域包括支援センター職員が同席し、その後の継続した支援につなげた。

(3) 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施(R3年度～新規事業。後期高齢者医療広域連合より受託。担当課は市民課・健康増進課・高齢福祉課)

	内容等	
ハイリスクアプローチ	健康状態不明な高齢者の状態把握	R4年度に健診・医療・介護のデータがない高齢者に対して、アンケートを行い、その後市職員および包括職員が訪問や電話にて個別支援を行った。
ポピュレーションアプローチ	通いの場での健康教室・健康相談 フレイル状態の把握	フレイル予防教室を1日目(フレイル・社会参加編)、2日目(栄養編)、3日目(口腔機能編)、4日目(運動編)の1コース4日間で実施。参加延人数1,099人。 当日「後期高齢者の質問票」の記入を行い、該当項目が多かった方に対しては、後日状況の確認を行い、情報共有して今後の支援に繋げた。
	気軽に相談できる環境づくり	包括職員が通いの場へ出向き、健康等に関する相談ができる機会を作った。

※次年度は、特にポピュレーションアプローチの事業内容を整理して、教室に参加のない通いの場へ啓発を行っていく予定。

(4)各種事業

[illegible]

6. 研修参加

		みなみかわち	いしばし	こくぶんじ	合計
研修内容	権利擁護	4	2	4	10
	包括ケア関係	16	5	10	31
	介護予防	1	1	1	3
	ケアマネジャー	0	0	2	2
	その他	2	0	3	5
	合計	23	8	20	51